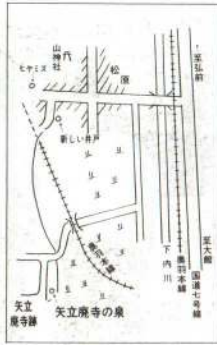


# 大館の歴史散歩 泉 ②

## 矢立廃寺跡の泉

大館市の松原集落には、「ヒヤミズ」と呼ばれる村の草創期からの泉がある。かつて村の家々では、天秤桶で朝な夕なに水を運んだという。飲料水としてはもちろん毎日の生活に欠すことのできない水であった。ところがだんだん水が少なくなってきたので木樋とコンクリート枠を入れて、七軒の家で



交通・秋北バス松原停留所徒歩15分

利用してきた。それでも水量が不足するようになって、三十ほど離れたところに新しい共同井戸をつくり、昭和三十九年十月に簡易水道が設置されるまでは、それを利用していたという。

この松原地内には、秋田市市内の松原補陀寺建立の際にその用材として建物を移したといわれる矢立廃寺跡がある。寺跡は松原集落の南方七百ほど、美しい三角錐形の男神、女神の山に抱かれた清閑な地にあり、そこに水量豊かな泉が湧き出ている。

泉は北側台地の浸透水で、出水孔にわずかに手が加えられているものの、おそらくは矢立廃寺があった六百五十年ほど前の姿そのま



まであろうと考えられ、泉から流れ出る水路には、やはり当時の施設と考えられる木杭列が土中に埋まっている。  
矢立廃寺跡は史跡公園化計画が進められていて、やがては泉も公園の一面に整備され、訪れる人に清らかな一服を与えてくれるであろう。(市役所・史跡探訪会)

## 図書館 コーナー



～新着図書～

「ブルー・ハイウェイ」  
(W・L・H・ムーン著  
TBSブリタニカ)

裏街道を、たった一人で小型のバンを運転し、全米をかけめぐった紀行文。知的好奇心の旺盛な著者は、長旅にもかかわらず思索を続けながら、普通の人には見えない何かを提示している。米国でミリオン・セラーとなり、スタインベックの「チャーリーとの旅」より魅力的という世評。

〈一般書〉

◇夢屑(島尾敏雄著)◇赤い卵の謎(樋口広芳著)◇母の蜚(寺山はつ著)◇家族の肖像(森瑤子著)◇ヘリコプターの眼(朝日新聞社編)◇森林(四手井綱英著)◇じゃばゆきさん(山谷哲夫著)◇続日本の風俗の謎(樋口清之著)◇お天気博士の四季暦(倉嶋厚著)◇椰子が笑う汽車は行く(宮脇俊三著)◇脳卒中リハビリ日記(横田整三著)ほか

〈児童書〉

◇きみの心をささえる言葉全10巻(山主敏子他著)◇学研カラー絵ばなし(学習研究社刊)◇推理、探偵傑作シリーズ全25巻(あかね書房刊)◇よわいかみつよいかたち(かこさとし著)◇兄さんの子守歌(V・クラビーウィン著)◇鳴りひびく鐘の時代に(マリア・グリーペ著)ほか

〈中央図書館の休館日〉 5月19、23日  
6月16、27日



風薫るテニスコートでは、今日もポーン、ポーンとこちよいボールの音と、楽しげな笑い声がこだましています。  
クラブ結成十一年目、現在会員約四十名。毎週火・金曜日が練習日です。

### 大館ママさんテニスクラブ

われら  
サークル仲間

No.11

戸外に出て体を動かすことは、日頃家に閉じこもりがちの主婦にとっては最高のストレス解消。しかし、クラブのモットーは、練習が日中ということで、「各家庭の仕事すべてを終えてからでなければテニスはやさない」ということになっており、練習日には会員は朝早くから炊事、洗たくなどに精をだすとか。  
クラブでは、主婦または三十歳以上の女性で、軟式テニスを始めてみたいと思っている方を募集しています。入会希望の方は児玉恵子さん(☎43-3604)か練習日に直接長根山テニスコートへおいでください。

十時から基本練習、そして午後はレベルに応じてゲームを楽しんでいます。  
同クラブでは、大館軟式テニス協会の会長である高橋禎二さんをコーチに、ラケットの持ったことのない初心者にも親切丁寧な指導を行っています。中には、二、三年の練習でママさんたちの全県大会に出場し、優勝された方もいます。

## まごころ秋田

・キャンペーン期間 5月1日～10月31日

▶日本一の大文字のパノラマと自然観察の思い出を親子で作ろう

全国に誇るスケール日本一の大文字焼。高台からその大文字焼と市街地の夜景や花火を親子で楽しもう。翌日は講師と自然観察。

▶本場きりたんぼまつりと温泉めぐり

期間中、きりたんぼ協会加盟店では、本場のきりたんぼが味わえる。また希望により自分で作って食べることもできる。

▶曲げわっぱ伝統工芸士に1日弟子入り

秋田杉の天然木を使って作る大館の代表的工芸品、曲げわっぱの歴史や製作工程を、伝統工芸士から聞き、製作実習を行なう。

詳しいことについては市役所商工観光課(☎49-3111内線284)へ。